

## 令和 3 年度学校評価結果

桶川市立桶川西小学校  
校長 西 納 聡

## 1 目指す学校像 「子供、保護者、地域に信頼される学校」づくりを目指す

## 2 学校評価

領域	No.	評価項目	自己評価		学校運営協議会における評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・運営	1	学校教育目標達成に向けて、組織的に取り組んでいるか。	A	「かしこく ゆたかに たくましく」の学校教育目標を達成するために、教職員が一丸となり、組織的にそして積極的に教育活動に取り組んだ。 職員の 47%が「よくできている」とし、ほぼ全員が「概ねよい」以上の評価だった。	・先生が一丸となって取り組んでいる様子でした。 ・コロナ禍での対応が増えハードな日々の中、行事は児童のための大切なものは実施し、先生方の頑張りを感じます。
	2	PDCA サイクルのもと学級経営や教科経営・分掌経営にあたっているか。	A	今年度も学校行事が大きく削減されたが、実施した行事は実施後すぐに、反省・評価して、改善に生かしている。春の運動会は感染防止対策を講じながら規模を縮小しての開催となったが、次年度に向けて感染症対策と同時に熱中症対策を考えた時程及び内容の検討を行う。	・教職員が積極的に取り組んでいることは非常に良いことだと思います。 ・今年度も感染防止のために非常に心配事があったことと思いますが、これからも特に注意しながら頑張っていたきたい。
学習指導	1	基礎・基本の定着を図るために児童の実態に基づいて授業改善(少人数指導・TT 指導等)に努めているか。	B	産休職員に対する補充職員の確保が出来ず、また、出張等で担任が不在となる補充をしているため、授業改善の計画が予定どおりに実施出来なかった。 引き続き、子供に「わかった・できた」を実感させる授業の工夫を行うとともに、少人数指導やTTでの指導、家庭学習で、基礎・基本の定着ができるように指導助言した。	・コロナ禍で学校での授業が少なかった事は大変だったと思います。オンラインではない時は、先生との直接授業が受けられることが大切です。 ・学習規律では概ね良い以上の評価であり継続して先生にお願いするしかないと思えますので、ご指導願います。
	2	児童に学習規律を身に付けさせ、学習成果を上げているか。	B	学習規律では「概ねよい」以上の評価が 97%であった。継続して教育指導補助員を配置して個別に対応したり、落ち着いて話を聞いたりできるよう指導してきた。	・いろいろな対応が必要な児童が年々増加している気がします。授業をしっかりやりやって理解させて実力をつけるには、現状の先生方の人数では無理だと思います。
	3	学校課題「表現力」を身に付けた子供の育成に取り組むことができているか。	B	学校課題研究 1 年目のスタートの年となった。目指す児童像や「表現力」を育成するための手立てについて研究を進めることができた。今後も引き続き、取り組んでいく。	
生徒指導・教	1	児童が進んで挨拶、正しい言葉遣いができるよう取り組んでいるか。	A	毎月定期的に朝の挨拶運動(代表委員会・各学級)の取組を行ってきた。また、コロナ禍の中、出来る範囲で地域との連携も図ることができた。しかし、挨拶や正しい言葉遣いについて今後も引き続き指導が必要である。	・挨拶や言葉遣いは家庭の影響が色濃く表れているものだと思います。家庭へ積極的に発信し共有できると良いと思います。 ・いじめは必ず存在すると

育相談	2	日常観察や教育相談を通じて、いじめや不登校の早期発見、解消に努めているか。 (いじめ防止法に係る評価)	A	いじめアンケートの結果などで心配な児童への対応を行ってきた。不登校の児童についても関係機関と連携を図りながら対応を進めている。職員が97%「概ねよい」という評価に対し保護者からの評価は87%にとどまっている。いじめ解消に向け、組織的に取り組んで行く。	いう目で見えていただきたい。ただし担任の先生の対応ばかりにならないよう市教委も含めた外部機関との連携をとって担任の負担を減らしてもらいたい。
健康教育	1	児童の体力向上に向け、体育や体育朝会、外遊びの奨励等に積極的に取り組んでいるか。	A	新型コロナウイルス感染防止の観点からふた学年別体育朝会や縄跳び検定、朝マラソンの取組など、出来ることを工夫して行い、体力の向上を図った。	・持久走大会を楽しみにしている子が多かった。 ・学校だよりにより持久走大会の1位を載せていただき、保育園の先生方もとても喜んで下さっていました。地域の皆さんの喜びにもつながっていると思いますので、可能な限りで今のままで継続をしてほしいです。
	2	児童に栄養のバランスのとれた食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしているか。	B	給食だよりの発行や毎日の給食をHPへ掲載して食に対する意識を高めた。また給食の時間に「今日の給食」を放送して栄養についても意識づけを行った。コロナ禍の影響で、バイキング給食や調理実習が出来なかった。	
学習環境	1	計画的・継続的に掲示物を整え、児童の学習環境を整えているか。	A	南校舎から北校舎に入る壁面の掲示物が積極的に活用できている。教室掲示についても、学習コーナーを設けるなど、学校として共通の掲示を行い、児童が既習事項を確認しやすい環境を整えた。	・いつも掲示物を楽しく拝見しています。 ・学校へ行くといつも足を止めて見てしまいます。子供たちもよく見ているみたいです。
	2	施設設備の点検を実施し、危険箇所の改修に努めているか。	A	月一回の安全点検と臨時の点検で、危険箇所について速やかな対応ができた。	・通りながら何気なく確認できるのはとても良いと思います。掲示物があるだけでも活気ができます。
教職員の資質向上	1	校内等の研修を充実させ、教員一人一人の資質の向上を図っているか。	B	学校課題研究「表現力の育成」をテーマに1年目の取組を行い、3回の授業研究会を行った。市内小学校から指導者を招き、基礎研究及び指導力向上に向けた研修会を行った。	・校内等の研修がどんなものでどのように実際の授業に生かせるのか、その結果、教員の資質がどういういうに向上したのかがわかるかと良いと思います。
	2	教職員は、倫理確立委員会等を活用し、服務規律の向上に努めているか。	A	倫理確立委員会メンバーが順番に指導者となってボトムアップによる研修会を行い、教職員の服務規律の徹底と教職員事故防止の徹底を行った。職員の100%「概ねできている」という評価であった。	
家庭・地域との連携	1	学校だより、学年だより等で、保護者や地域に適切な情報発信をしているか。	A	学校だより、学年だよりの発行やホームページの更新により、学校の情報発信を行うことができた。職員の99%、保護者の93%がB評価以上の評価だった。また、コロナ禍の中、情報メール登録97%。	・学校だよりが早々といただけるので助かります。メールも情報が早くて役立ちます。 ・学校だよりを下日出谷の自治会への配付をお願いしたいです。
	2	授業参観、家庭訪問や個人面談を適切に行っているか。	A	職員の100%、保護者の90%がB評価以上の評価だった。今年度はコロナ禍の影響で、家庭訪問や学級懇談会が出来ない中、12月には授業参観を分散で2日にかけて行うなど、工夫を凝らして実施することができた。	・人が密集しない中でどのように行事を行うか、学校の様子を保護者と共有していくかむずかしいところだと思います。

\*評価項目については各学校で領域ごとに項目を2～3設定する。